

補助事業概要の広報資料

補助事業番号：23-1-021

補助事業名：平成23年度 地域に根ざしたこどもの自然・文化・遊び体験活動補助事業

補助事業者名：一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

子どもたちが伝統的工芸品に触れる機会を増やす催事として、子どもの地域工芸品体験学習事業を実施し、豊かで潤いのある国民生活の育成と日本文化の継承及び発掘を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

伝統的工芸品についての理解を深めるため、子どもたちに地域の伝統的工芸品の製作体験を中心とした文化的催事を開催した。

催事名：「伝統工芸ふれあい広場・ふくしま・会津若松」

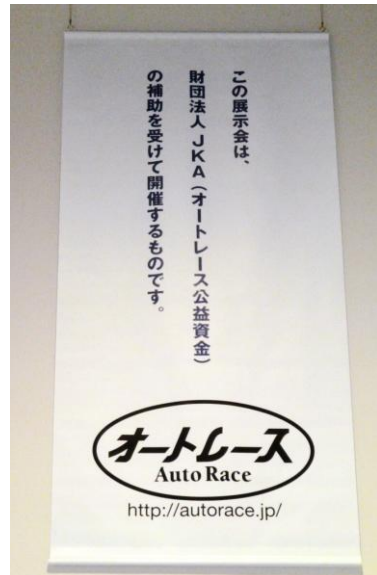
実施期日：平成23年10月28日～10月30日

実施場所：会津アピオスペース（福島県会津若松市）

来場者：19,000人

※10月初旬、伝統的工芸品月間全国大会開催地において、その中心催事のひとつとして次代を担う子どもたちが地域文化・経済の顔である各地の伝統的工芸品について理解を深めるよう、全国から職人を集めて実際にものづくりを行なうとともに、子どもたちが職人の指導により工芸品づくりを遊びながら楽しく体験できるようなスペースを設け、伝統的工芸品の普及啓発を行なった。

各産地の伝統的工芸品の職人が一堂に会して工芸品の製作実演および体験指導を行うことで、普段、伝統的工芸品とはあまり馴染みのない子どもたちがそれぞれの地域の伝統的工芸品を再認識し、ものづくりへの理解を深める一助となった。さらに、現代生活における伝統的工芸品の活用を問い直す絶好の機会となった。





2. 今後予想される効果

子どもたちが製作体験を通じて、それぞれの地域で作られる伝統的工芸品に対する興味と関心を深めることにより、伝統的工芸品がその地域を支える重要なファクターの一つとして再認識するようになることが期待できる。また、伝統的工芸品が現代のくらしを豊かに彩る日常生活用品であること、天然素材を活用した再生可能な循環型の地球環境に優しいものであること、そして、世界に誇る貴重な生活文化財産であるとの理解が深まることが期待できる。

3. 事業内容についての問い合わせ

団体名 : 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会
(イッパングアイダシホジシテントウキコウゲイエンサングヨウシコウキョウカイ)

住所 : 107-0052
東京都港区赤坂ゆ 8-1-22 赤坂王子ビル

代表者名 : 代表理事 田口 宗平 (タグチ ソウヘイ)

担当部署 : 管理部(カンリブ)

担当者名 : 高橋 賢文 (タカハシ ヨシフミ)

電話番号 : 03-5785-1001

Fax : 03-5785-1002

E-mail : kanri@kougei.or.jp

URL : <http://kougeihin.jp/>